



LINE QR コード

令和6年 10月 第474号

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

令和六年度「浄恩寺報恩講法要」
十一月二十三日(土) 十時

勤労感謝の日



今年も、午前からの法要をお勤めします。
午前十時からお勤め開始、
十時四十分法話「荒山 優」 十二時終了

永代経同様、納骨堂より、お骨を本堂に安置して、
先人と共に聴聞する法会にさせていただきます。

本山東本願寺御正忌報恩講

毎年、本山では、十一月二十一日から二十
八日まで、決まったお勤めがなされます。
宗祖親鸞聖人の祥月命日の法要です。



上記写真の「御影堂」
は、その中央には親鸞の
木彫が飾られています。
俱に聞法し、学び、人生
を考える道場としてたく
さんの人々が集える場所
です。

十一月二十一日
初速夜十四時開始

この法要から一連のお勤

めが始まります。
初日の緊張した空気を破る龍笛「乱声」
が響きます。そして、未寺では読むことな
い「正信偈」一時間三十分ほどかけてお勤
めします。



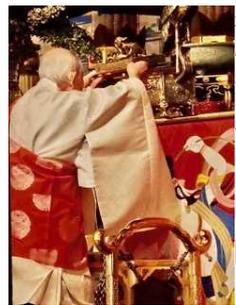
翌日の曲目練習が終
わると夕暮れ、入浴し、
二十二時の門限に間
に合うように夕食に
出かけます。翌朝は、朝
長い廊下を渡り、朝

食といただきます。昼食も同じ場所です。
この廊下の往復はいい運動です。



法要のクライマックス、最高潮に達するの二十八
日御満座です。静寂厳肅を打ち破る声が発せられま
す。

「坂東曲ばんどうぶし」(親鸞が越
後へ流罪になる際、荒海に揺れる
船の中で一人の心を唱え
たという説がある)
何人も揺
僧侶が体を揺
らして念仏を
唱えます。



坂東曲が始まるとテレビ局の撮影
ライト、新聞記者のフラッシュが一
斉に焚かれます。京都の冬の訪れと
して毎年恒例の報道になつていま
す。TBSなどで一度ご覧下さい。
銀杏の葉も黄金色に輝き、法要に
花を添えます。この日を境に、木枯
らしも吹き始めます。



「浄恩寺御正忌報恩講法要」準備

- ① 仏具のお磨き
 - ② すす払い清掃
 - ③ 仏具の飾り
 - ④ 花立て
- 計画的に、徐々に
準備を進めます。



「9月のふく&たら」
9月も暑くて、朝5時台、夕方5時過ぎにしか、
散歩に行けない日々が続きました。酷暑の日々も、
終わりがみえてきました。ゆっくり散歩したいです。



